

事務事業名		学校給食アレルギー対策事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	教育総務部	担当課	学校給食課
	政策	1	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり				担当係	学校給食係	担当課長名	古内裕之	
	施策	2	安全で安心して学べる教育環境の整備				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1	安全で快適な学校施設の整備				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	15396	一般	10	5	3	学校給食アレルギー対策事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	23年度～ 年度		根拠法令 条例等	学校給食法、学校給食実施基準					
							市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
							任意的事業・義務的事業		任意的事業		
							実施方法		直営		
						事業分類		教育・指導事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
食物アレルギーをもつ児童生徒のうち、毎日あるいは献立によって給食を食べることができない児童生徒に、代替食を提供するための実施手順として策定した「食物アレルギー対応の手引き」について、医療関係者等、専門家を交えた「学校給食食物アレルギー対策委員会」での検証を行い、代替食の提供の実施の充実を行う。		<ul style="list-style-type: none"> 学校給食食物アレルギー対策委員会、専門部会の開催 食物アレルギー対応の実施手順となる「食物アレルギー対応の手引き」の検証及び「改訂版」の策定 教育委員会定例会に「手引き 改訂版」の報告 校長会で「手引き 改訂版」についての説明 アレルギー対応食提供に向け、新小学1年生及び在校生に対し食物アレルギー調査を実施 						
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		委員会開催回数	回	1	1	1		
		検討部会開催回数	回	0	2	1		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
市立小中学校の児童・生徒		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		児童生徒数	人	9,224	9,075	8,886		
		食物アレルギーをもつ児童生徒数	人	581	640	640		
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
目的		食物アレルギーをもつ児童生徒に安全な給食を安全に提供する。						
		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		代替食対応児童生徒数	人	13	46	60		
		アレルギー事故件数	件	0	0	0		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
学校給食の安全性を確保する。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		学校給食における事故件数	件	30	48	0	0	0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
事業費	財源内訳	千円										
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
一般財源	千円		10	10	25							
事業費計(A)	千円		10	10	25	0	0					
投入量	事業費の内訳	千円	報償費	10	報償費	10	報償費	25				
人件費	正職員従事人数	人	1	1	1							
	のべ業務時間	時間	385	385	385							
	人件費計(B)	千円	1,517	1,517	1,517	0	0					
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,527	1,527	1,542	0	0					

事務事業名	学校給食アレルギー対策事業	担当部	教育総務部	担当課	学校給食課	担当係	学校給食係
-------	---------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和29年に制定された学校給食法が、平成21年に制定以来初めて抜本改正され、給食の目標が「栄養補給」から「食育」へと大きく転換され、食物アレルギーを持つ児童生徒にも個々に対応することが強く求められるようになったこと、新センターの稼働をきっかけに、事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国においても、アレルギーに起因する事故対策が検討されている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	アレルギー対策は議会一般質問で事故防止対策について、取り上げられている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	策定した「対応の手引き」による運用の検証により、安全な給食提供につながるため、結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	学校給食の実施主体は市町村となるため。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	学校給食における食物アレルギーによる事故防止対策であるため見直す必要はない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	目標が事故ゼロであり、現状を維持することが重要である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は、食物アレルギー対策委員会に外部委員として参画している医療関係者等の報償費であるので、削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	賄材料費である学校給食費は、学校給食法で、保護者負担とされており、負担の範囲内で実施する事業であるため、新たな受益者負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
現在、小中学校の児童生徒は約1割の1,000人が毎年卒業し、入学する。現時点での食物アレルギーをもつ児童生徒は、増加傾向にあることから、事業の継続性が必要であるが、学校給食法での給食提供が設置者の義務でなくなったとき、事業は終了する。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			